

長野県行政書士会 諏訪支部 会員各位

令和 3年 5月 7日 (金)

諏訪支部 小口 敬子

本日、令和3年度長野県行政書士会諏訪支定期総会及び長野県行政書士政治連盟諏訪支部定期大会が、終了いたしました。ここに謹んでご報告申し上げます。

退任の挨拶です。私、小口敬子は支部長を2期4年間担ってきました。至らぬところがあり会員の皆様にご迷惑をおかけ致したことも多々あると思われませんが、私なりに精一杯職務を行ってきました。

その間、私を支えてくださいました理事・幹事・役員の皆様には本当に熱くお礼を申し上げます。

又、今年度は、支部長の任期が終了するため、新支部長の選任となりました。長野県行政書士会諏訪支部長選任規則、第14条5項によりまして赤羽康志新支部長が総会におきまして選任されました。

令和3年5月7日総会終了時より、赤羽康志会員が新支部長就任となりましたのでご報告いたします。若い力で諏訪支部を牽引していただける事と思っております。

うれしいお知らせがありまして、宮澤良康先生が、「黄綬褒章」を受章されました。本当に素晴らしく、誇りに思います。先生には、気持ちばかりですが、諏訪支部として祝電を送らせていただきました。先生は36歳で税理士事務所、44歳で行政書士事務所を立ち上げ中小企業の発展にご尽力されました。県行政書士会で副会長、日本行政書士会連合会監事等役員を14年間務められました。1997年、政府の規制改革委員会で「行政書士による書類作成業務独占の廃止」が取り上げられた際には、県議会に請願書を提出するなど制度の維持に奔走し、07年に完成した県行政会館の建設にも携わり、長野市内での土地取得から落成まで「大変だった」と苦勞を語っています。行政書士としてご尽力いただき行政書士の知名度向上に貢献していただいたことは大変ありがたい事だと思います。

宮澤先生、本当におめでとうございました。(岡谷市市民新聞掲載記事を引用)

詳細は、諏訪支部ホームページにも掲載されておりますのでご覧ください。

<https://gyoseisuwa.sakura.ne.jp/blog/2021/04/29/miyazawateachercongrats/>